



SPEAKER SYSTEM VXC5F/VXC5FW/VXC3F/VXC3FW 取扱説明書

JA

ZP40610

日本語

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

■必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意喚起を示す記号
	禁止を示す記号
	行為を指示する記号

- この製品の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。
- 不適切な使用や改善により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

警告

分解禁止



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

火に注意



この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

異常に気付いたら



下記のような異常が発生した場合、すぐにパワーアンプの電源を切る。
・製品から異常なにおいや煙が出た場合
・製品の内部に異物が入った場合
・使用中に音が出なくなった場合
・製品に電撃、故障がある場合
そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

水に注意



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合はすぐにパワーアンプの電源を切り、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

注意

設置



不安定な場所に置かない。
この機器が転倒して故障したり、けがをきたす原因になります。



塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。
故障の原因になります。



取り付け作業は必ず専門の施工業者に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。
・この機器の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を通し
・継続して振動があるような場所は避ける
・必ず指定された取り付け工具を使用する
・定期的に保守点検を行なう

接続



・ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。
・電源を入れた後切り切ったる前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。
感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。



スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。
それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

スピーカーの取り付け

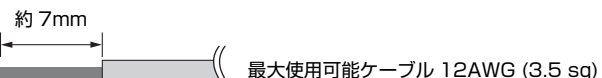
付属の金具を使って、天井にスピーカーを取り付けます。取り付けの場所に十分な強度があることを確認してから、取り付けを行なってください。
イラストは VXC3F です。他のモデルも取り付け方法は変わりません。

△注意

スピーカーの取り付け作業は、アンプの電源を落としてから作業してください。

事前準備（ケーブルの処理）

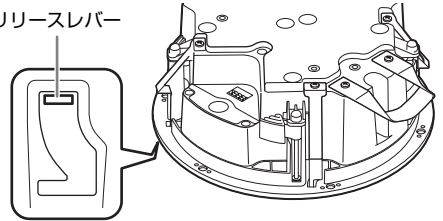
- ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルにはより線を使用し、図のようにむき出して配線してください。



Note

断線の原因となりますので、より線にははんだめっきしないでください。

- パツル前面のリリースレバーが図の位置になっていることを確認してください。



1 天井に穴を開ける

- 付属のテンプレートを天井にあて、開口のための線を描きます。開口部の直径が合わないときスピーカーを取り付けられなくなるため、必ずテンプレートを正确使用してください。

Note

ホールカッターを使う場合はテンプレートで直径を合わせてください。

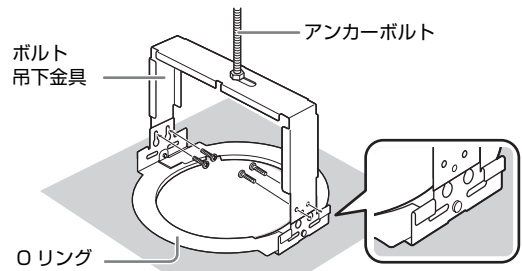
- 線に沿って穴を開けます。穴を開ける際に、破片や粉などが目に入らないようにご注意ください。

2 ボルト吊下金具と O リングを天井裏に設置する

- O リングをたたんだ状態で天井裏に入れ、天井裏で展開します。



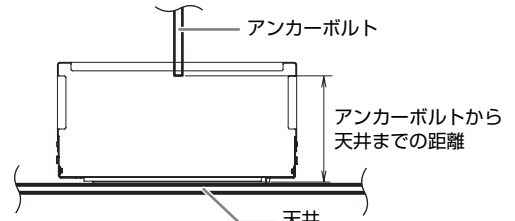
- ボルト吊下金具に付属のネジを仮留めします。ここで仮留めをしておくと、固定しやすくなります。ネジ頭とボルト吊下金具の間に 2mm 程度のすき間をあけてください。



- アンカーボルトは、ボルト吊下金具を天井裏に入れ、イラストのようにアンカーボルトとボルト吊下金具と O リングを固定します。

Note

- アンカーボルトは $\phi 10$ mm のものを使用してください。
- アンカーボルトは、天井までの距離が以下になる長さにしてください。
VXC5F/VXC5FW: 150mm \pm 5mm
VXC3F/VXC3FW: 120mm \pm 5mm



取り扱い



この機器のバスレフポート / リリースレバーの可動部分に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



この機器のバスレフポートから金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐにパワーアンプの電源を切り、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



・この機器の上のたつり重いものをのせたりしない。
・スイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
この機器が破損したり、けがをきたす原因になります。



大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



音がひずんだ状態ではこの機器を使用しない。
機器が発熱し、火災の原因になることがあります。



この機器と組み合わせて使うパワーアンプを選ぶとき、パワーアンプの出力レベルがこの機器の許容入力レベル以下であることを確認する。
出力レベルが許容レベルを超えていると、故障や火災のおそれがあります。



アンプでクリップが生じるような過大な信号や以下のようないきなり（ノイズ）を入力しない。
・マイクフォン使用時のハウリング音
・電子楽器などからの連続した大音量の音
・過度にひずんだ連続音
・アンプの電源を入れた状態でのケーブルの抜き差しによるポップノイズ
パワーアンプの出力レベルがこの機器の（プログラム）許容入力レベルより低い場合でも、機器の損傷、故障や火災のおそれがあります。

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱い／お手入れに関する注意

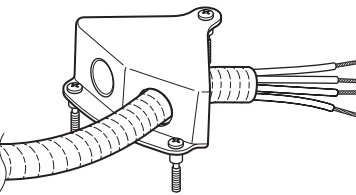
- ハイインピーダンス接続時は、80Hz 以上のハイパスフィルターを通した信号をスピーカーに入力してください。
- 直射日光のある場所（目の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- この機器にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを触れたままにしないでください。この機器が変色 / 変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ペンジンやシンナー、洗剤、化学そうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して（機器の移動時や急激な冷暖房下など）、機器が結露しているおそれがある場合は、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- スピーカーを並列接続する場合は、必ずアンプの規定負荷インピーダンスの範囲内（仕様参照）で接続してください。アンプの故障の原因になります。
- 保護回路について
本製品は（自動復旧型の）保護回路を内蔵しています。過大な入力が増えると、保護回路が動作して、音が出なくなります。使用中に音が出なくなった場合は速やかにアンプの音量を下げてください。（数秒～数十秒で自動的に復帰します。）
- バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、この機器の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。
- キャリイバンドを持って振り回さないでください。
- グリルをはめたままグリルを下にして地面などに置かないでください。グリルが変形する原因となります。
- パツル前面を下にして置く場合は、平らな場所に置いてください。
- スピーカーユニットには触れないようにしてください。
- 家庭用 100V 電源には接続しないでください。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

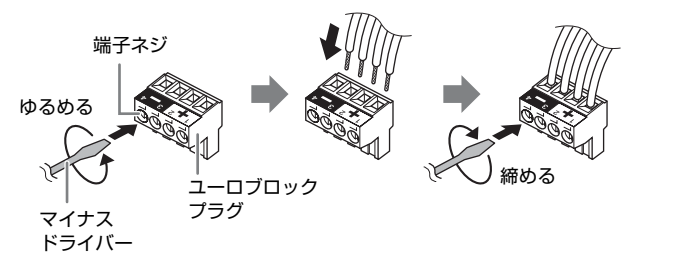
- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

3 結線する

- アンプからのケーブルを天井の開口部から引き出します。
- ターミナルカバーにケーブルを通します。

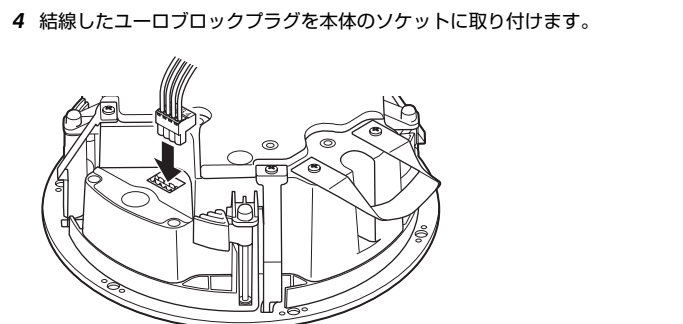


- ユーロブロックプラグの端子ネジをマイナスドライバーでゆるめたと、各結線部にケーブルを差し込み、端子ネジをしっかりと締め付けます。結線については、「ケーブルの結線」を参照してください。ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

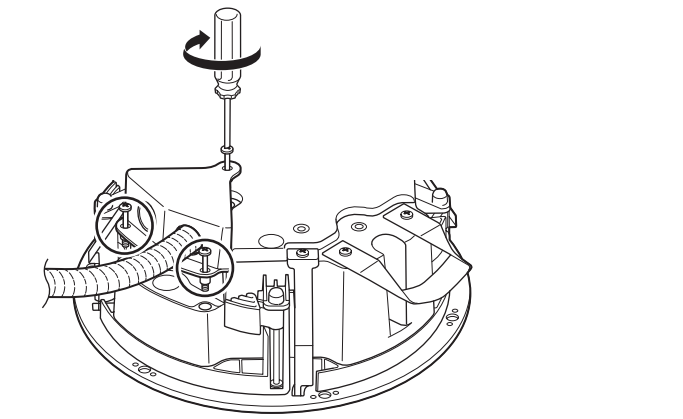


Note
マイナスドライバーはブレード幅が 3mm 以下のものを使用してください。

- 結線したユーロブロックプラグを本体のソケットに取り付けます。



- ネジを締めて、ターミナルカバーを取り付けます。



同梱品

同梱品を確認してください。

- ・スピーカー ×2
- ・グリル ×2
- ・ユーロブロックプラグ（4 ピン、5.08mm ピッチ）×2
- ・ターミナルカバー（ネジ 3 本付き）×2

- ・O リング ×2
- ・ボルト吊下金具 ×2
- ・ネジ ×8

- ・落下防止ワイヤー ×2
- ・穴開け用テンプレート ×1
- ・取扱説明書（本紙。裏面に保証書が掲載されています。）

* スピーカーケーブルおよびアンカーボルトは付属しておりません。

仕様

	VXC5F/VXC5FW	VXC3F/VXC3FW
形式	フルレンジ、バスレフ方式	
コンポーネント	11.5 cm (4.5 インチ) フルレンジユニット	9 cm (3.5 インチ) フルレンジユニット
公称指向角度 (1 kHz ~ 4 kHz 平均) *1	130° 円錐状	140° 円錐状
定抵抗インピーダンス	8 Ω	
許容入力	NOISE 40 W PGM 80 W MAX 160 W	20 W 40 W 80 W
出力音圧レベル (1 W, 1 m) *1	89 dB SPL	87 dB SPL
最大出力音圧レベル (計算値、1 m, Peak) *2	111 dB SPL	106 dB SPL
再生周波数帯域 (−10 dB) *1	60 Hz ~ 20 kHz	71 Hz ~ 20 kHz
コネクター	ユーロブロック (4 ピン) × 1 (インプット: +/−, ルーブスルー: +/−)	
トランスアップ	70 V 100 V	30 W, 15 W, 7.5 W, 3.8 W 30 W, 15 W, 7.5 W
プロテクション	全帯域においてネットワークとトランスデューサーを保護	
防磁仕様	非防磁型	
エンクロージャー	形状 キャビネット素材 パツル素材	丸型 ABS V-O 材 3.5 mm, 黒 ABS V-O 材 5 mm, 黒
グリル	素材 仕上げ	パンチングメタル 鉄 0.6 mm 粉体塗装 トリムリング: ABS V-O 材 開口率 46 % VXC5F/VXC3F: 黒塗装 (マンセル N3 近似値) VXC5FW/VXC3FW: 白塗装 (マンセル 9.3 近似値)
寸法 (グリル含む)	$\phi 324 \times D143$ mm	$\phi 285 \times D112$ mm
質量 (グリル含む)	3.1 kg	2.5 kg
開口寸法	$\phi 285$ mm	$\phi 247$ mm
取り付け可能板厚	5 mm ~ 37 mm	
対応配管	$\phi 15.4$ mm ~ $\phi 21.3$ mm	
梱包数量	2 本セット	

*1: ハーフスペース (2 π)

*2: 許容入力と出力音圧レベルから計算

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

製品の寸法については、本紙裏面にある寸法図を参照してください。

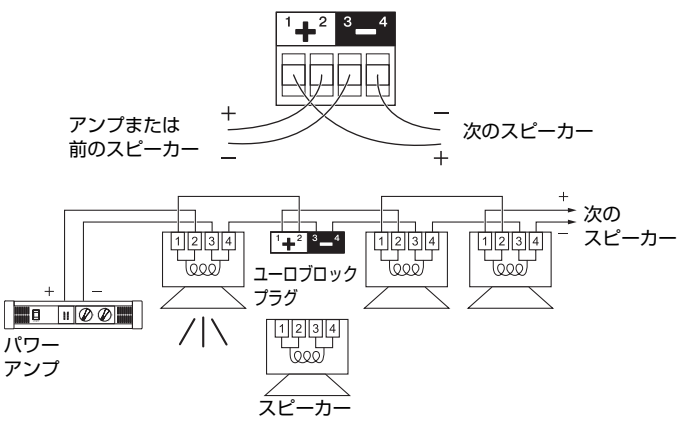
ケーブルの結線

△注意

- ローインピーダンス接続のときは、合成インピーダンスに注意して接続してください。
- ハイインピーダンス接続のときは、接続するスピーカーの入力ワット数の合計がパワーアンプの定格入力に対して余裕を持たせてください。詳細については、以下の URL にあるハイインピーダンス接続の説明を参照してください。
ヤマハプロオーディオサイト「商業空間のよりよい音作り」: http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/training_support/better_sound/

ルーブスルー接続

次のスピーカーに 1 と 4 を使って接続する方法です。AWG 12 (3.5 sq) までの太さのケーブルが使用できます。ユーロブロックプラグがスピーカーから外れると、それ以降のスピーカーは動作しなくなります。

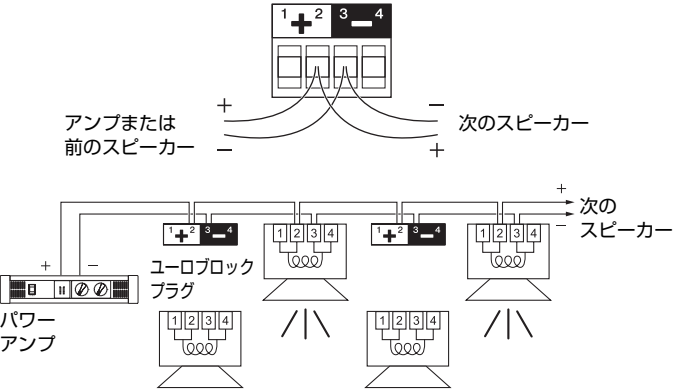


Note

家庭用 100V 電源には接続しないでください。

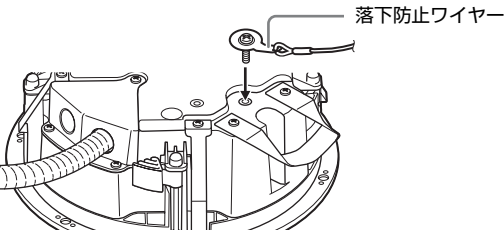
ダイレクト接続

次のスピーカーに 2 と 3 を使って接続する方法です。1 つの端子に 2 本のケーブルをまとめて接続します。AWG 17 (1.25 sq) までの太さのケーブルが使用できます。あるスピーカーのユーロブロックプラグが外れても、他のスピーカーは正常に動作します。



4 天井に固定する

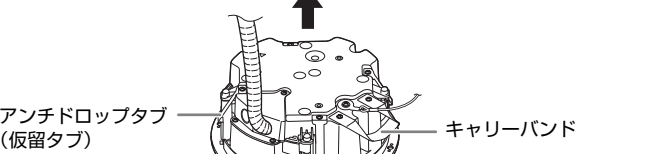
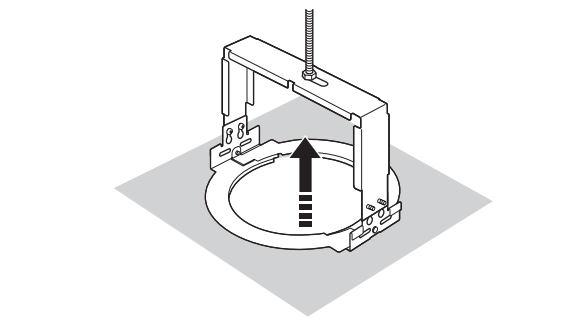
- 落下防止ワイヤーを取り付け、頑丈な溝形鋼などにつなぎます。



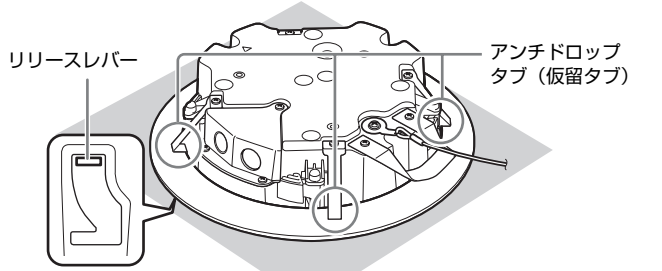
△注意

必ず落下防止対策を施してください。
付属の落下防止ワイヤーで長さが必要な場合は、スピーカーの重量、設置状況を考えて適切な長さや強度の物をご用意ください。長さに余裕がありすぎると、落下時に運動エネルギーがワイヤーに多くかかって断線する可能性があります。

- 天井とスピーカーの間にケーブルとキャリイバンド、落下防止ワイヤーを挟まないように注意しながら、ゆっくりとスピーカー本体を天井に押し上げます。



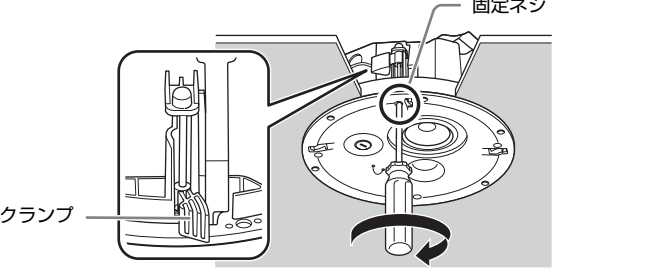
リリースレバーが図の位置になっていることを確認してください。その場合、すべてのアンチドロップタブ（仮留タブ）が O リングを通過するとスピーカー本体が O リングに仮留めされます。



- スピーカーを少し上に持ち上げながら、プラスドライバーを時計回りに回して固定ネジを締めます。最初の回転でクランプが開きます。ネジを回すことにクランプが下がり、天井を押し込みます。

Note

クランプが開きにくい場合、いったん反時計回りに半周回すと開きやすくなります。

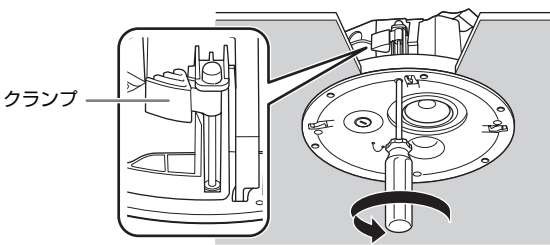


△注意

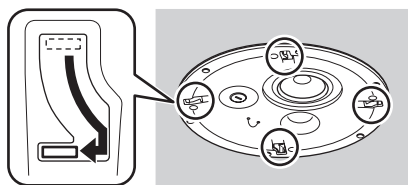
- 締めすぎるとネジが切れたりクランプが壊れたりするため、固定ネジを締めすぎないようにしてください。
- 固定ネジ以外を回さないでください。スピーカーユニットの落下や故障の原因となります。

天井から外す

- 固定ネジを反時計回りに回して緩めます。天井を押し込んでいたクランプはネジを緩めると上がり、上がり切ると下図のように閉じます。



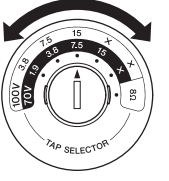
- スピーカーを少し上に持ち上げながら、パツル前面のリリースレバーを図のように動かして固定します。



- 天井から外れたスピーカーから落下防止ワイヤーを取り外します。

5 伝送方式と入力ワット数を設定する

スピーカーフロント面にあるタップ選択スイッチをマイナスドライバーなどで回して、伝送方式 (100V/70V/8 Ω) と 100V/70V ラインを使用するときの入力ワット数のタップを選んでください。



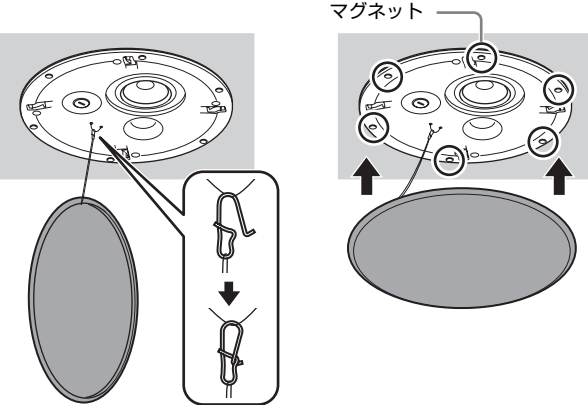
イラストは、100V ライン設定時に 15W、70V ライン設定時に 7.5W となる設定を表わしています。

△注意

- × のところには合わせないでください。また、8 Ω の位置はローインピーダンスアンプと組み合わせるときにだけ合わせてください。設定を間違えるとスピーカーやアンプが故障する原因になります。
- タップ選択スイッチを操作するときは、アンプの電源を落としてから作業してください。

6 グリルを取り付ける

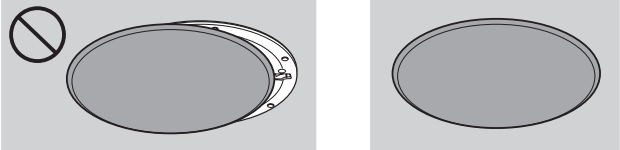
グリルに付いている糸を本体に取り付けてから、パツル前面のマグネット (6ヶ所) にグリルを取り付けてください。



△注意

グリルの取り付け位置がずれていると、設置後にグリルが落下するおそれがあります。グリルを取り付ける際にはご注意ください。

グリルの取り付け位置がずれている状態 正しく取り付けられた状態



保証書

持込修理

品 名		スピーカーシステム	
※品 番			
※シリアル番号			
保 証 期 間		本 体	お買上げの日から1ケ年間
※お買上げ日		年 月 日	
お 客 様	□□□□-□□□□		
	ご住所		
	お名前		
	電 話 ()		
		様	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示
の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書
など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	所在地	電話
		()	

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買上げ店、または
次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

0570-050-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5652-3618**

受付 月曜日～金曜日 11:00～19:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5652-3634

オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

0570-012-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6465-0367 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒143-0006東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪府大阪市此花区島屋6丁目2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX 06-6465-0374

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12
KDX 箱崎ビル1F

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などは変更になる
場合があります。

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類
(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に
保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。
お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出
張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。
詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品などについては、使用時間或使用環境などに
より劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要
となります。有寿命部品の交換は、お買上げ店またはヤ
マハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品
フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、
製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度読みいただき、接続や設定などをご確認
のうえ、お買上げの販売店またはヤマハ修理ご相談セン
ターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、
製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだ
け詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客
様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報
の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当
社は一切その責任を負わないものとします。また、いかな
る場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支
払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とし
ます。

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

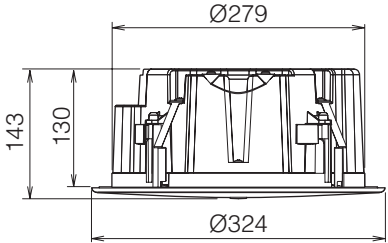
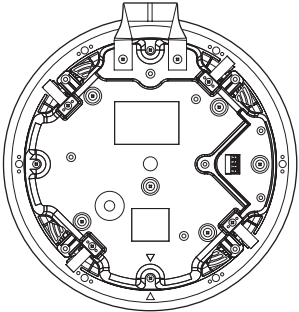
* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

※ その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

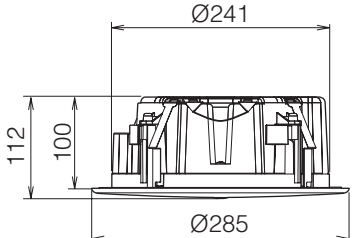
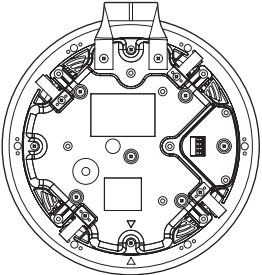
寸法図

単位:mm

VXC5F/VXC5FW

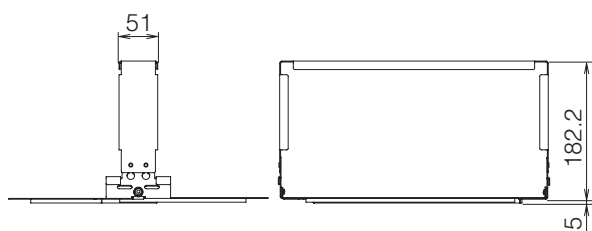
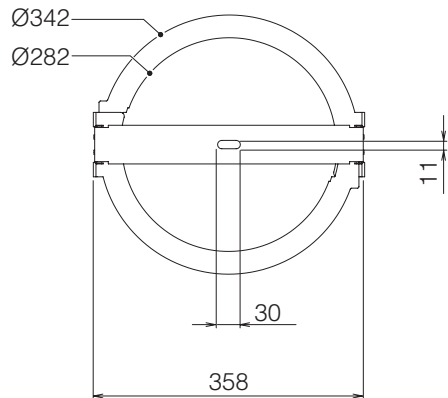


VXC3F/VXC3FW

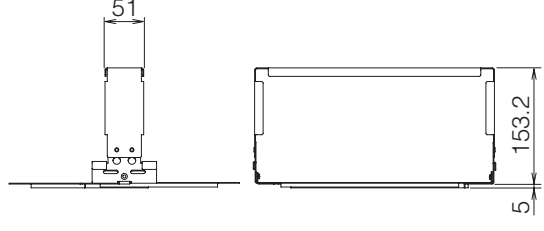
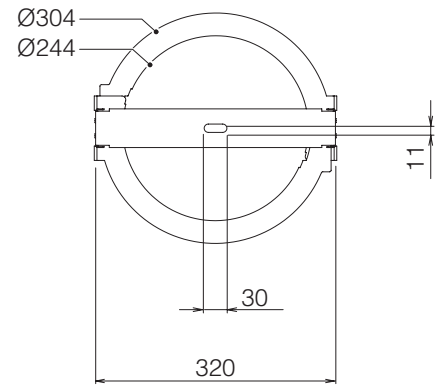


ボルト吊下金具とOリング

VXC5F/VXC5FW



VXC3F/VXC3FW



ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

ヤマハダウンロード:
<http://download.yamaha.com/>